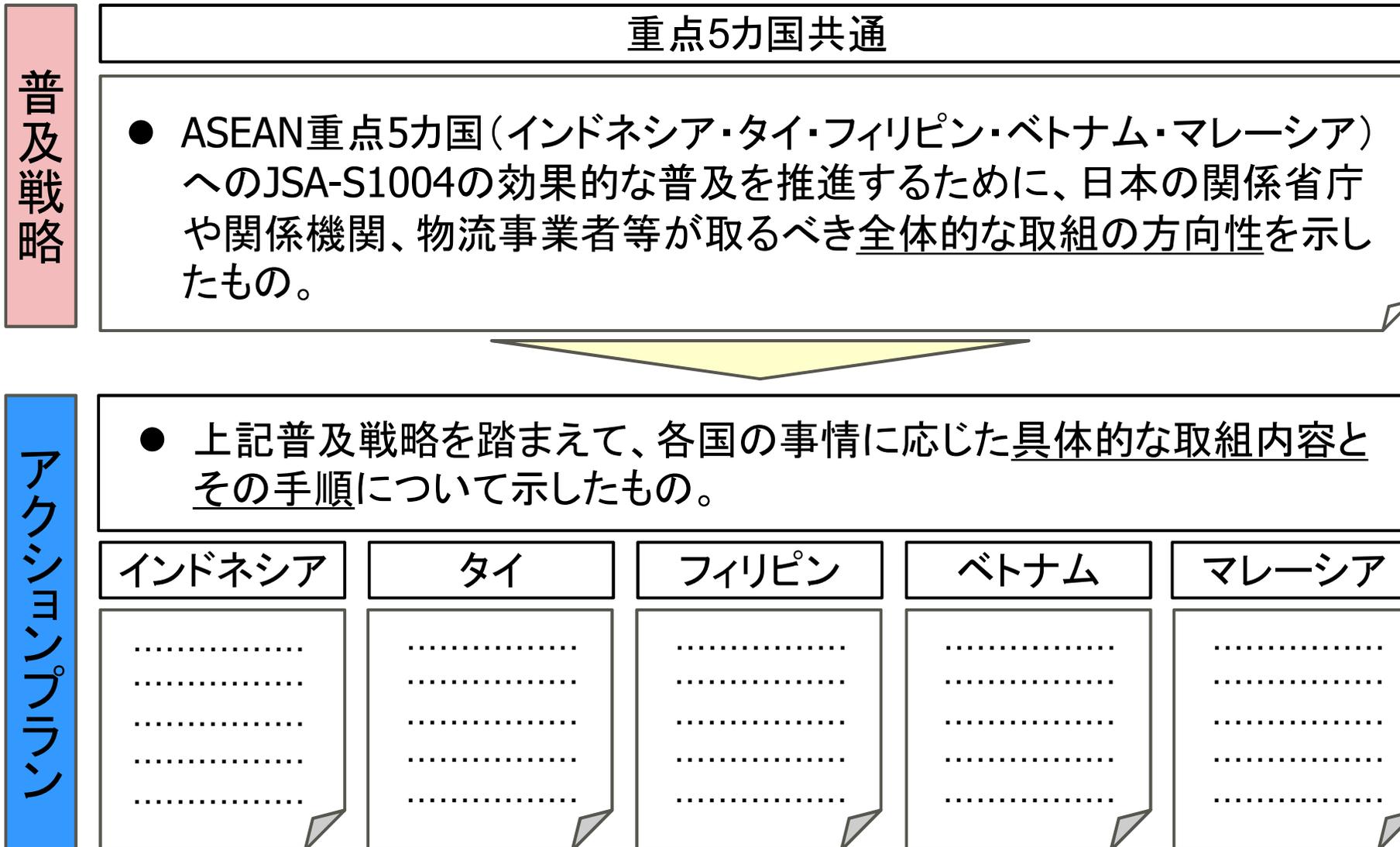


本事業の進め方について

2020年11月5日(木)
株式会社富士通総研

1. 本事業のアウトプットのイメージ

I. 普及戦略とアクションプランについて



1. 本事業のアウトプットのイメージ

II. ①普及戦略について

1. 基本的な考え方

(1) 背景・目的

⇒規格普及を進める背景や目的(我が国物流事業者の海外展開の促進、ASEANにおける国家規格化)について記載する。

(2) 戦略策定の考え方

⇒規格の普及や国家規格化に向けた各国共通の課題とその解決に向けた取組の方向性を設定する。

- | | | |
|------------------------------|-----|-----------------------|
| (例) ✓ 国家規格策定のプロセスが分からない | } ⇒ | ■ 標準化を扱う政府機関・団体への働きかけ |
| ✓ 標準化を扱う政府機関・団体の規格認知度が低い | | |
| ✓ 消費者や荷主のコールドチェーン物流に対する意識が低い | ⇒ | ■ 消費者や荷主に対する意識啓発 |
| ✓ 現地物流事業者の規格取得意欲が低い | ⇒ | ■ 物流業界団体や物流事業者への働きかけ |
| ✓ 規格取得のための認証制度が未整備 | ⇒ | ■ 認証体制の整備 |

(3) 対象期間

⇒「ASEANスマートコールドチェーン構想」の計画期間(2019年度～2023年度)の終了時期に合わせて、「2021年度～2023年度」とする。

1. 本事業のアウトプットのイメージ

II. ②普及戦略について

2. 取組の方向性

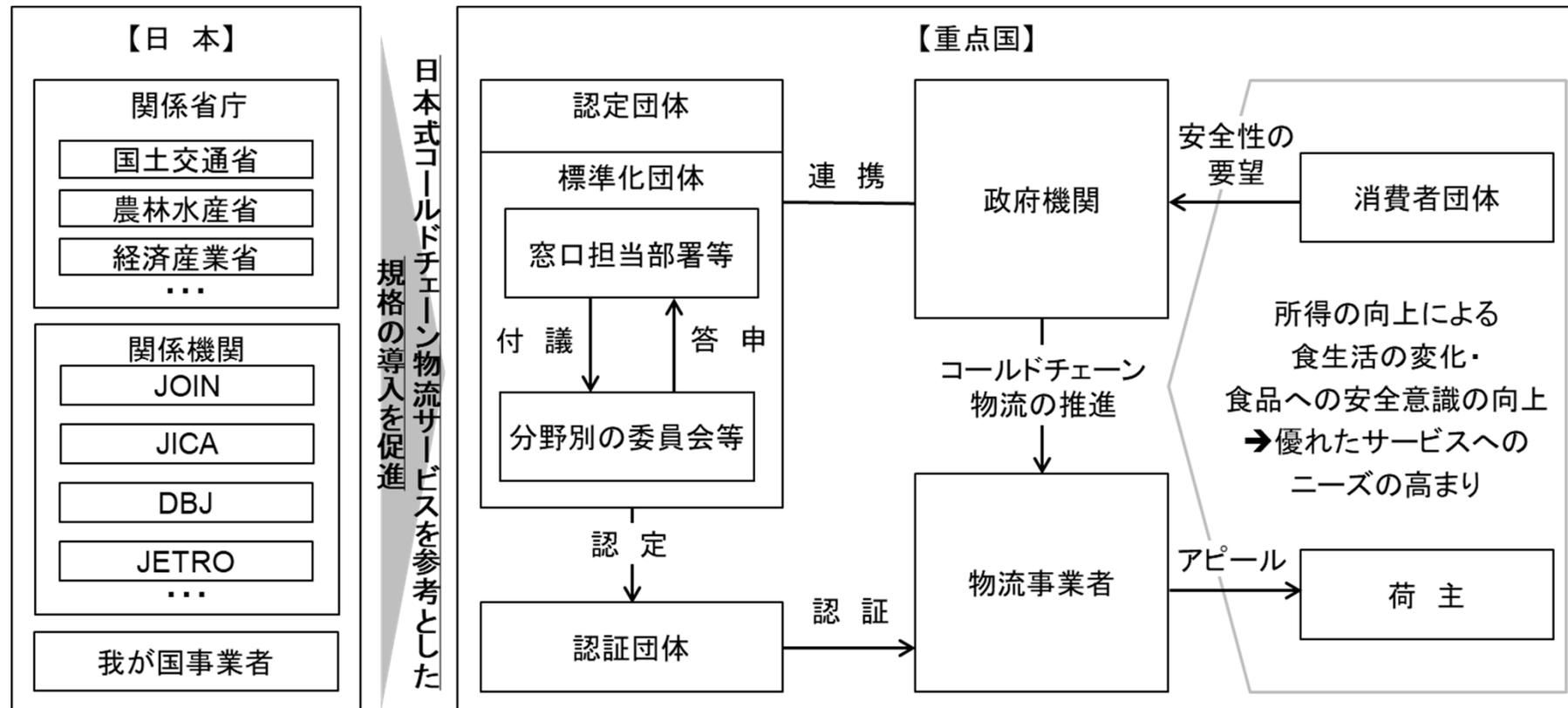
⇒1. (2)で設定した取組の方向性とその内容を示す。

- (例)
- 標準化を扱う政府機関・団体への働きかけ
 - 政府機関や標準化団体等に対し、国家規格化のプロセスの詳細を把握するための情報収集、規格のメリット等をPRするセミナー等の実施、研修等を通じた人材育成の実施 等
 - 消費者や荷主に対する意識啓発
 - 消費者や荷主団体に対し、コールドチェーン物流の重要性、規格のメリット等をPRするセミナー等の実施 等
 - 物流業界団体や物流事業者への働きかけ
 - 物流業界団体や物流事業者に対し、コールドチェーン物流の重要性、規格のメリット等をPRするセミナー等の実施 等
 - 認証体制の整備
 - 認証機関や政府機関・標準化団体に対する認証の仕組みや重要性を説明するセミナー等の実施、研修等を通じた認証基準策定に向けた人材育成の実施 等

1. 本事業のアウトプットのイメージ

II-③ 普及戦略について

(参考) 関係主体とその役割



1. 本事業のアウトプットのイメージ

III.ー①アクションプランについて(マレーシアの例)

1. 基本認識

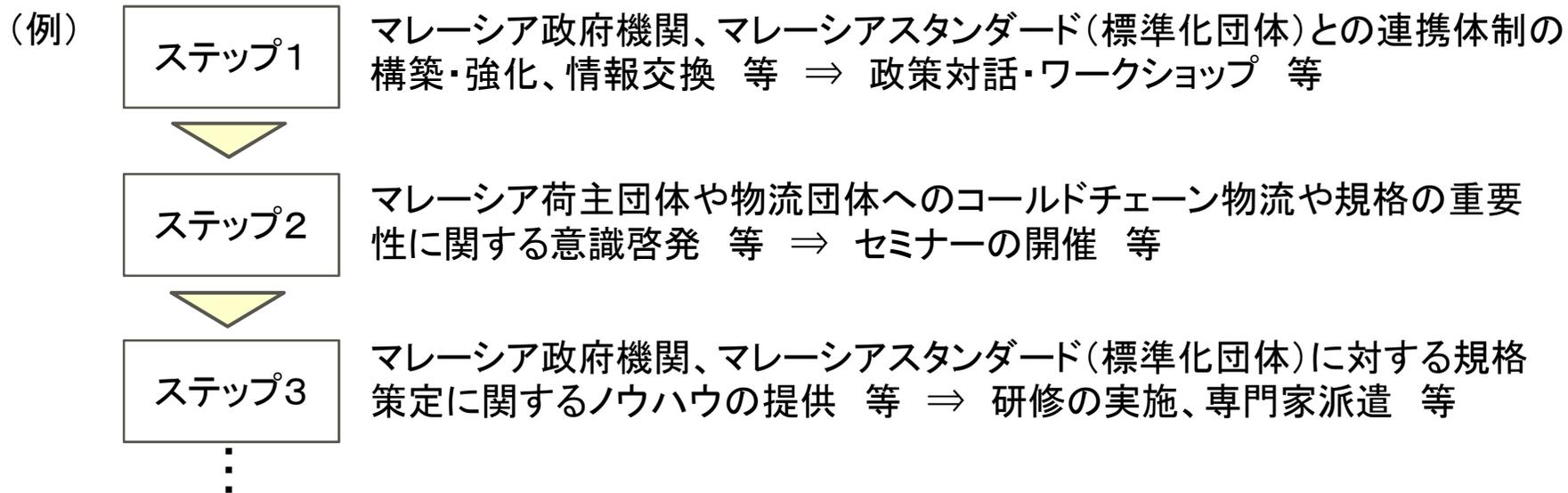
(1) マレーシアにおけるコールドチェーンの現状・課題

(2) マレーシアにおける標準化の動向

⇒政府や業界の動向について記載する。

2. 具体的な取組内容

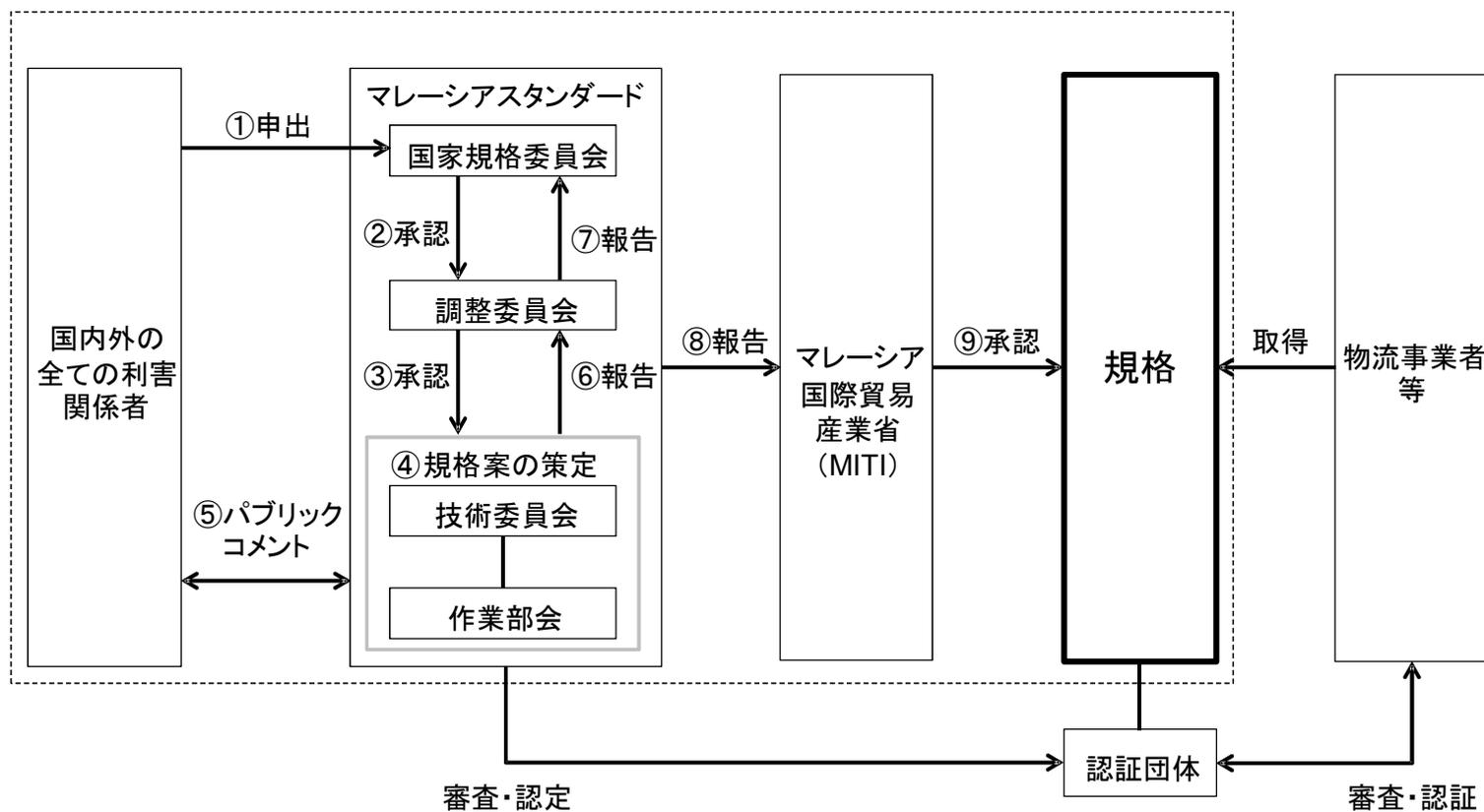
⇒普及戦略を踏まえ、各国の事情に応じた具体的な取組内容とその手順を示す。



1. 本事業のアウトプットのイメージ

III.ー②アクションプランについて(マレーシアの例)

(参考)規格化のプロセス



2. 調査の進め方

I. 調査の目的

関係者へのヒアリングや文献調査を通じて、国家規格の導入に向けた働きかけにおいて考慮すべき各国の制度や課題等を把握し、効果的な普及戦略及びアクションプランの策定を目指す。

II. 調査対象・方法

【調査対象】

政府機関、標準化団体/認定団体、現地/日系物流事業者、その他関係団体

【調査方法】

- 政府機関へは、12月に開催される日ASEAN物流専門家会合に付随してヒアリング調査を行う。
- 標準化団体/認定団体、現地物流事業者、日系物流事業者については、現地への渡航、オンライン会議等の方法によりヒアリングを実施する。

2. 調査の進め方

III. 調査項目(案)

被調査者	調査項目
政府機関	<ul style="list-style-type: none">▶ コールドチェーン物流の現状▶ 日本式コールドチェーン物流サービス(JSA-S1004)に対する認識▶ コールドチェーン物流サービス規格の導入の必要性▶ 規格の導入に向けて日本に期待する支援 等
標準化団体/ 認証団体	<ul style="list-style-type: none">▶ 国家規格の策定プロセスと国内における認定・認証制度の概要▶ 日本式コールドチェーン物流サービス(JSA-S1004)に対する認識▶ コールドチェーン物流サービス規格の導入の必要性▶ 国家規格の導入に向けて日本に期待する支援 等
現地/日系 物流事業者	<ul style="list-style-type: none">▶ コールドチェーン物流の現状▶ 日本式コールドチェーン物流サービス(JSA-S1004)に対する認識▶ 国家規格の取得によるメリットと負担 等

3. 本事業の進め方

I. 今年度のスケジュール

	2020年		2021年		
	11月	12月	1月	2月	3月
第1回委員会	● 11/5 ✓ 事業概要、方針について議論				
第2回委員会			● 1/21 ✓ 調査経過報告 ✓ 普及戦略・アクションプラン案について議論		
第3回委員会					● 3/4 ✓ 最終調査報告 ✓ 普及戦略・アクションプランの策定
調査	→				

II. 次年度以降の事業実施のイメージ

